

マルクスとエンゲルスの主要な功績

このように融合(社会主義と労働運動とを単一の社会民主主義運動に融合——青山補筆)されるとき、労働者の階級闘争は、有産階級による搾取から自己を解放しようとする**プロレタリアートの意識的な闘争**に転化し、社会主義的労働運動の最高の形態である**独自の労働者の社会民主党**がつくりだされる。社会主義を労働運動との融合に向わせたことが、K・マルクスとF・エンゲルスの主要な功績である。彼らは、この融合の必要なことを説明しプロレタリアートの階級闘争の組織化を社会主義者の任務として提起する革命的理論をつくりだした。…………

現在では、すべてのロシアの社会主義者とすべての自覚したロシアの労働者の**主要な任務**は、この融合をうちかため、「労働者の社会民主党」を強化し、組織化することである。この融合のことに耳をかそうとしない者、ロシアにおける労働運動と社会民主主義派とのあいだに人為的になんらかの分界線を引こうとつとめる者は、ロシアにおける労働者社会主義と労働運動との事業に、利益ではなく**害悪**をもたらすものである。…………

このように政治を個々の改良のための同職組合の闘争に帰着させることは、いったい政治の否定ではないのか？ いったいこれは、世界社会民主主義派の基本的な遺訓を放棄することではないのか？ 社会民主主義者は、プロレタリアートによる政治権力の獲得と社会主義社会の設立とのための**手段**としての、民主主義獲得のためにたたかう独自の労働者政党へプロレタリアートの階級闘争を組織することを、目標としてつとめなければならない、という遺訓を？ わが国における社会民主主義の最新の曲解者たちは、社会民主主義者にとって貴重ないっさいのもの、労働運動を世界史的運動とみなす権利をあたえるいっさいのものを、なんという際限のない軽率さで捨てさろうとしているのだろう。

第四巻 ロシア社会民主主義派のうちの後退的傾向

P274~278 1899 年末に執筆

コメント

プロレタリアートの階級闘争の組織化を社会主義者の任務として提起する革命的理論をつくりだしたこと、社会主義を労働運動との融合に向わせたことが、K・マルクスとF・エンゲルスの主要な功績である。このことが、私たちの**主要な任務**である。

私たちは、プロレタリアートによる政治権力の獲得と社会主義社会の設立とのための**手段**としての、民主主義獲得のためにたたかう独自の労働者政党へプロレタリアートの階級闘争を組織することを、目標としてつとめなければならない。このことが労働者のエネルギーを引き出し、党に活力を与える。私たちは、市町村のちまちました議会での議席を占めることを主たる目的とし、議会主義的クレチン病におかされ、党の役割を忘れてはならない。